

2007 年度

科目名 日本語の文法	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 大槻 美智子
授業テーマ 文法を体系的に学ぶ		
授業の概要と目標 山田（孝雄）文法の考え方をベースに、文法がいかにか体系的なものであるかを実感する。		
評価方法 平生の学習態度、定期テスト等で判断する。		
テキスト 適宜プリントなどを配布する。	著者	出版社
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 オリエンテーション 2 文と語（文法論の単位） 3 文節／自立語・付属語 4 単語の分類（体言・用言・副用言） 5 体言の分類（実質体言・形式体言） 6 名詞 7 代名詞① 8 代名詞②「こそあど」について 9 数詞① 10 数詞② 11 名詞と格（格助詞） 12 副助詞・係助詞 13 有情・無情と文法現象 14 まとめ① 15 まとめ② 16 用言の分類（動詞・形容詞・存在詞） 17 形容詞の活用① 活用表を作る 18 形容詞の活用② 活用の種類と変遷 19 動詞の活用① 活用表を作る 20 動詞の活用② 活用の変遷 21 動詞の活用③ 活用形の意味と用法 22 存在詞 23 助動詞の性質と種類① 動詞の活用形との関係 24 " ② 活用の種類 25 副用言の分類 26 副詞の種類と働き① 27 " と働き② 28 語の転成① 29 語の転成②／まとめ① 30 まとめ②		